



**平成28年度
第7回 三重県河川整備計画
流域委員会**

一級河川 熊野川

**平成29年1月31日
三重県**



目次

1. これまでの経緯と今後の予定
2. 各委員から頂いた意見



□ 第1回 流域委員会(H29年1月12～16日に持ち回り説明)

流域の概要、治水・利水・環境の現状・課題・方向性

□ 第1回 流域懇談会(H29年1月19日)

✓ 関係住民の意見聴取

□ 第2回 流域委員会(H29年3月1日)

河川整備計画原案の提示

平成29年3月上旬から4月上旬(1ヶ月間)
パブリックコメント

平成29年3月上旬 関係機関協議

平成29年4月上旬 関係市町長 意見聴取

平成29年4月末頃 整備計画策定

■治水に関する意見

- ・流域内の浸水被害を軽減するためには、左岸（三重県）と右岸（和歌山県）が共同して計画を策定する必要がある。
- ・上流域からの土砂供給がある河川なので、河道掘削で対応する場合は、掘削後の土砂堆積への懸念がある。
- ・道路や堤防の嵩上げについても検討が必要
- ・和歌山県の整備内容についても示すこと。
- ・左岸（三重県）、右岸（和歌山県）及び、上下流の整備順序について、整備による悪影響が出ないように検討する必要がある。



■第1回流域委員会（持ち回り説明）で頂いた主な意見

■利水に関する意見

- ・河道掘削の実施に際してはかんがい用水等の取水に影響が出ないように配慮が必要。



■第1回流域委員会（持ち回り説明）で頂いた主な意見

■環境（歴史・文化）に関する意見

- ・熊野川は世界遺産のコアゾーンとなっているため、文化財や文化的景観に変化を与えないような配慮が必要。
- ・三重県と和歌山県が策定している熊野川景観計画についても、整理したほうがよい。